



東京工科大学 メディア学部長

**柿本 正憲** Kakimoto Masanori

東京大学工学部卒業後、富士通研究所等を経て2012年メディア学部教授着任。この間、東京大学大学院修了。博士(情報理工学)。CG等の研究に従事。第5代教務委員長。2017年4月より第6代メディア学部長。

東京工科大学メディア学部は、わが国で初めて学部学科名に「メディア」を冠した学部としてカリキュラムや教員構成を全く新規に設計し、平成11年4月に新設されました。令和の御代を迎えた今年20周年を数えるに至りました。情報技術の進歩と普及は加速を続け、工科系の観点から幅広くメディア学を教育し研究する本学部の位置づけはますます重要になっています。現在メディア学部は入学定員290名で、学生が2年次にコンテンツ・社会・技術の3コースから自身の専門性を選択します。これら3コースは創設時からのコア領域「表現」「環境」「技術」にそれぞれ概ね一致します。激しく変化する世の中にあって、このように当初の独自の方針や理念を貫きながら存在感を保っています。「メディア」を名称に含む学部学科は全国で約80にも増えましたが、メディア学部という肝の据わった王道の学部名は希少かつ絶妙です。相磯秀夫先生はじめ学部創設に尽力された諸先生方の慧眼に心より敬意と感謝の意を表します。人間なら成人の節目となる学部20周年にあたり、ここに記念誌を発行することができました。皆様にお楽しみいただければ幸いです。企画編集にご協力くださった諸先輩の先生方、制作をご担当頂いたアंकベル・ジャパン株式会社の皆様、法人出版部の方々、本学の先生方に御礼を申し上げます。

最後に、本年8月15日に享年98歳で逝去された片柳学園創立者・前理事長の片柳鴻先生のご冥福をお祈りし、謹んでこの記念誌を先生に捧げる次第です。